



平成 28 年度
旧マッケンジー住宅
顕彰事業

旧マッケンジー住宅で満喫！ おいしい静岡茶の 入れ方とお話し



開催日時: **11/12 (土) 13:30~16:00**

- 内 容 静岡茶の輸出に貢献したマッケンジー夫妻は、生前自宅へ知人を招待してティーパーティーを開いていました。本講座はマッケンジー夫妻の住宅にて、日本茶インストラクターによる解説で、美味しい静岡の紅茶と煎茶の入れ方や静岡茶の歴史について学ぶ講座です。講座終了後には、旧マッケンジー住宅の見どころを解説するガイドツアーもあります。
- 会 場 旧マッケンジー住宅(静岡市駿河区高松 2852 番地)
- 対 象 どなたでも 定員 30 名
- 講 師 日本茶インストラクター
- 申込方法 10月3日(月)9:00から電話で(公財)静岡市文化振興財団(TEL:054-255-4746/
平日9:00~17:30)まで(申込順)。

参加者募集

参加料無料

講座 おいしい静岡茶の入れ方とお話し

旧マッケンジー住宅とは

旧マッケンジー住宅は、静岡市駿河区高松の海岸沿いに建つ、白い壁が美しい洋館です。この屋敷に住んでいたダンカン・J・マッケンジーとエミリー・M・マッケンジーの夫妻は、大正7年にアメリカから来静して、日本茶業界の拡大に貢献した人物です。富士山が好きだった夫妻は、昭和15年に富士山のよく見える高松の海辺を選んで自宅を建設しました。

この建物を設計したのは、日本各地に多くの作品を残した建築家のウィリアム・M・ヴォーリスです。赤い西洋瓦葺きの屋根、スタッコ仕上げの荒い白壁、アーチ型の窓などが用いられたスパニッシュスタイルの住宅で、夫妻はこの屋敷にペガサス座の星の名から取った“HOMAM(ホナム)”という愛称をつけて親しんでいました。

昭和47年に夫人が帰国した際に屋敷の敷地の半分が静岡市に寄贈され、残り半分と建物は静岡市が買い取りました。現在は一般に公開されています。



▲国登録有形文化財。中央の展望室からは、美しい富士山と海を眺める事ができます。

11月1日は静岡市「お茶の日」(お茶の日記念事業)

お茶のまち 静岡市

静岡市では、「静岡市めざせ茶どころ日本一条例」に基づき、葵区栢沢出身の「静岡茶の祖」と言われる聖一国師(しよういちこくし)の生誕の日であるとともに、新茶の時期だけでなく一年を通してお茶に親しんで欲しいとの願いを込め、11月1日を静岡市「お茶の日」として定めています。この静岡市「お茶の日」の普及啓発と、静岡市のお茶が持つ魅力を多くの皆さまへ発信していくことを目的に、本市では「静岡市お茶の日記念事業」を毎年度実施しています。

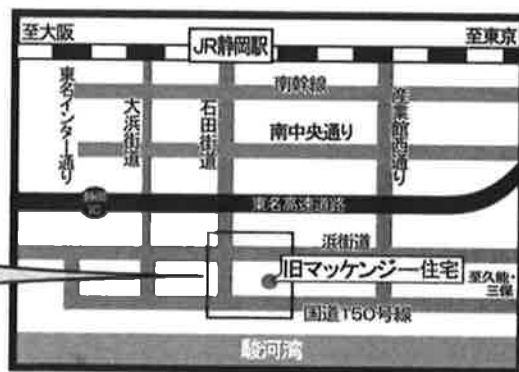
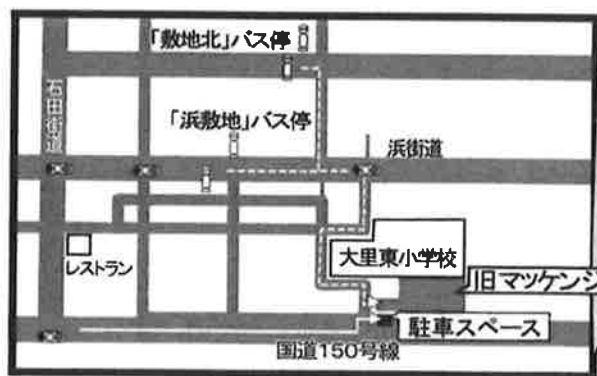
会場アクセス

<行き方>

■バス : しずてつジャストラインバス石田街道線、「浜敷地」または「敷地北」下車、徒歩5分。

■車 : 下図矢印のとおりに入庫してください。(国道150号線から右折進入はできません)

駐車スペースが限られているため、できるだけ公共の交通機関でお越しください。



<旧マッケンジー住宅のご案内>

住所: 静岡市駿河区高松 2852 番地 Tel: (054)237-0573

開館時間: 午前9時～午後4時30分 月曜休館 祝休日は開館、翌平日休館

入場料: 無料

お問合せ:



公益財団法人
静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

TEL: 054-255-4746